



もった
い
な
い
エコ
な
高石
へ

ごみの減量、リサイクルが進む高石。
環境にやさしいまちづくりの
「今」をご紹介します。

「もったいない」の気持ちを大切に さらなるごみの減量・再資源化へ。



1月21日、アプラホールで「環境・廃棄物リサイクルフェア&環境シンポジウム」を泉北環境整備施設組合との共催により開催しました。

このイベントは、皆さんに、環境問題やごみの減量・再資源化の意識向上につなげていただくために実施したもので、各企業が体験型のブースを設けたり、意識啓発の講演・各種表彰等が催されました。その内容をご紹介します。



平成15年4月高石市・泉大津市・和泉市で運営する泉北環境整備施設組合に、それまでの5号炉に加え、当時最新鋭のダイオキシン対策を講じた1・2号炉（現クリーンセンター）が完成しました。しかし、それは一方で約159億円もの大きな起債（借金）を抱えることでもあったのです。

以来この13年間、泉北環境整備施設組合は人件費の削減など経営改善に取り組み、124人いた正職員を47人まで減少させ、人件費総額15億円を5億円に、約66%を削減しました。そして、同時に構成3市とともに、ごみの減量化に取り組んだのであります。

平成22年泉大津市が、平成25年高石市が、平成27年には和

泉市が、一般可燃ごみの有料化に取り組み、商工業者から出される事業系ごみも平成21年に有料化に踏み切りました。その結果、平成15年当時には12万トンあった可燃ごみが平成27年度には8万8000トンまで減少し、5号炉は休止することができ、その運転コストだけでも毎年8000万円の経費削減ができました。そして平成28年4月から本格稼働したエコトピア泉北（資源化センター）に合わせ、プラスチック製容器包装の分別収集をスタートすることにより、さらに可燃ごみの減量化が進み、8万5000トンまで減少すると見込まれています。

1・2号炉の起債の残高も11億円まで減少し、構成3市の負担も大幅に軽減することができました。それも市民の皆様のご理解とご協力あつてのことと、本当に有難く感謝申し上げます。

しかし今後、1・2号炉の老朽化による大規模修繕や延命化、最終処分場の確保など新たな課題も考えていく必要があります。今後とも、ごみの減量化やリサイクル等の推進に、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

レジ袋をやめてエコバッグへ!

1人あたりの年間レジ袋使用量は3.6kgにもなります。毎日の買い物には、エコバッグを活用しましょう



集団回収の表彰



高石市では、「集団回収(古紙等)」で好成绩の団体を表彰しています。今年は、回収量の伸び率NO.1の羽衣学園(リサイクルの会)、回収量NO.1の九区子ども会、活動歴20年の三井化学羽衣寮が表彰されました

リサイクルポスターの表彰



環境やリサイクルの推進をテーマに市内の小学4年生から募集した「環境・廃棄物リサイクルポスター」。最優秀に輝いた清高小学校4年生の藏橋 渉くんほか

「とろすけ」からの

おねがい



泉北環境整備施設組合
マスコットキャラクター
「とろすけ」

- 埋め立て地に近い将来満タンになるので、みんなでごみを減らしましょう!
- プラスチック製容器包装を分別する時は、汚れを落としてください。
- プラスチック製容器包装に注射器などの医療廃棄物を入れないでね。
- 毎日の買い物は、できるだけエコバッグを使って、不要なレジ袋は受け取らないでね。

講演

全国に先駆け ダイオキシン対策に 着手!



NPO法人
大阪ごみを考える会
理事長 森住 明弘さん

1980年代以降、全国的にダイオキシン問題への関心が高かった。泉北環境整備施設組合は、当時ダイオキシン対策に有効とされていたバグフィルタをいち早く設置し、地域の環境対策を行ってきた。

今後さらに求められるのは、現在、市と取り組んでいる分別や4R(5ページ参照)を一人ひとりが意識すること。そのために大切なことは「住民のごみ処理への理解をさらに深めること」である。この「環境フェア」や「泉北環境クリーンフェスティバル」など、様々な啓発事業を通じて、住民と行政がごみ問題と一緒に取り組むことが大切である。

演芸

もったいない ～江戸時代にごみはなかった!?～

落語家 笑福亭松枝さん

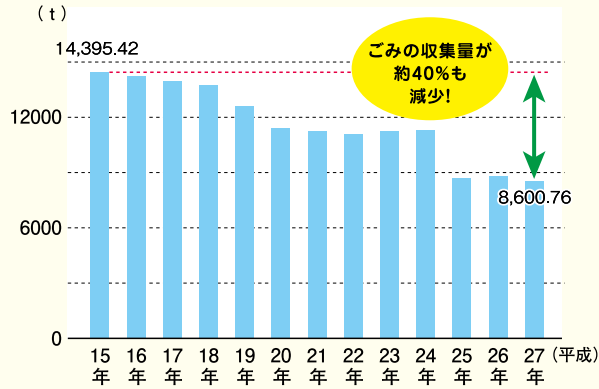


日本には「もったいない」という言葉がある。江戸時代には壊れた鍋を修理する「いかけや」など、今で言うリユース(再利用)やリサイクル(再資源化)の職業がたくさんあり、町にはごみが落ちていなかったと言われている。現代でも、ものをごみくずと決めてしまわずに、「もったいない」の精神で環境を守っていきましょう。

ご協力ありがとうございます。 ごみの減量もリサイクルも進んでいます。



普通(可燃)ごみの収集量

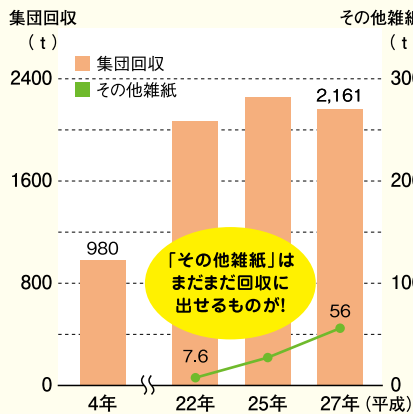


高石市では、一部従量制の導入やプラスチック製容器包装の分別収集など様々な取り組みを行っています。
皆さんからのご協力のおかげで平成15年からごみの収集量が約40%も減少しています。
引き続き、ごみの減量とリサイクルの推進にご理解・ご協力をお願いします。



ごみの収集量が
減少しました！

集団回収とその他雑紙の回収量



家庭から出るごみの約36%は「紙ごみ」です。つつい捨ててしまう封筒などの「その他雑紙」も集団回収に出すことができます、有効な資源となります。「その他雑紙(5ページ参照)」の集団回収がさらに進めば、まだまだごみを減らせられます。市では平成4年から有価物収集団体に対し奨励金助成を実施しています。



紙類は積極的に
集団回収へ！



プラごみ回収、
進んでいます！

去年の4月から始まったプラスチック製容器包装の分別収集により資源ごみは12月の時点ですでに前年を大きく上回る量が回収されています。それまで普通(可燃)ごみの約29%を占めていたごみのリサイクルが進んでいます。



高石のごみは
こうなっています。

エコトピア泉北



資源ごみ

泉北クリーンセンター

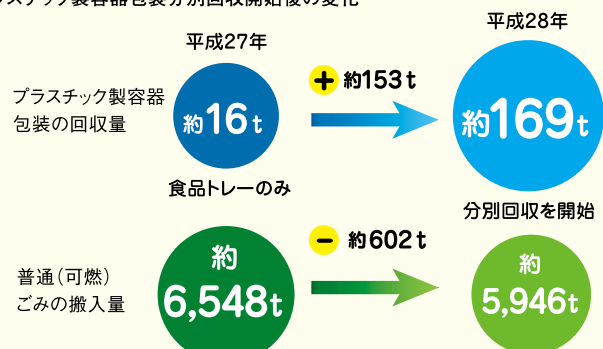


可燃ごみ

粗大ごみ

高石市のごみは、泉大津市、和泉市のごみと一緒に、普通ごみ・粗大ごみは「泉北クリーンセンター」で、資源ごみは「エコトピア泉北」で処理されています。普通ごみは効率よく燃やし、その際に出る熱を利用して発電、施設の電力をまかなうとともに、余った電力を電力会社に売却しています。粗大ごみは鉄やアルミを取り出します。資源ごみは種類ごとに選別、再資源化されます。

プラスチック製容器包装分別回収開始後の変化



※いずれも4月～12月までの数値

※各グラフは高石市のゴミの量



引き続き、再資源化できるごみの 分別回収にご協力をお願いします。



きれいで
住みやすいまちへ

高石市では循環型社会をめざし、今後ともごみ減量・再資源化に取り組んでいきます。集団回収の紙類はもとより、びん・缶、ペットボトルに加え、プラスチック製容器包装についても引き続きご協力をお願いします。

分別が進めば資源の有効活用がさらに進み、地球環境への負担が減らせます。環境にやさしいまちづくりは、きれいで住みやすいまちづくりにつながります。

プラスチック製 容器包装

包装袋、包装フィルム類、食品トレー・パック・カップ類、プラスチックボトル、発泡スチロールや概ね50cm四方以下のプチプチなど緩衝材、ふた・ラベルなど



汚れは落としてから。
落ちないものは普通ごみで

こんなものに リサイクルされます

プラスチック製品の原料 など

家庭から出たプラマークのごみやペットボトルは、繊維製品、包装資材、ボトルや文房具、日用品などにリサイクルされています



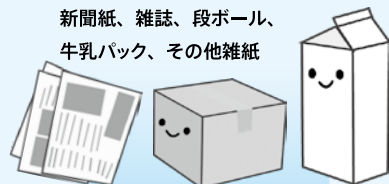
普通ごみを減らして残ったシールは日用品に交換できます※

1シート15枚単位でトイレットペーパーなどの日用品に交換しています。交換時期は広報紙などでお知らせします。

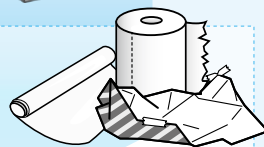
※「平成29年度当初予算」に係る事業については、予算の成立をもって実施します。

紙類

新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、その他雑紙



「その他雑紙」は、箱・封筒・ダイレクトメール・パンフレット・包装紙、ラップやトイレットペーパーの芯など



こんなものに リサイクルされます

紙や紙製品の原料

紙の原料の約60%が古紙といわれています。回収された紙は、また紙の原料となり、さまざまな紙製品に生まれ変わっています



新聞紙、段ボール、本、新聞、コピー用紙、トイレットペーパーなど

改めて知っておきたい ごみを減らす4つの R

R efuse リフューズ

「断る」

- ・マイバッグを持ちレジ袋はもらわない
- ・過剰包装は断り、簡易包装に協力する
- ・チラシなど不要なものはもらわない

R educe リデュース

「出さない」

- ・詰め替え用がある製品を選ぶ
- ・食べ残ししないようにする
- ・生ゴミは水切りし、量を減らして出す
- ・使い捨てをせず、マイ箸などを使う

R euse リユース

「再利用する」

- ・修理しながら大切に使う
- ・繰り返し使えるものを使う
- ・リサイクルショップなどを利用する
- ・ごみにする前に、別の使い方を考える

R ecycle リサイクル

「再資源化する」

- ・びん・缶やペットボトル、プラを分別する
- ・古紙類や古布を集団回収に出す
- ・再生品を選ぶ

くわしい分別方法や収集時の注意点は、配付しているごみ収集のパンフレットか市のホームページをご覧ください。